



NPO法人 丸亀街づくり研究所通信

経営理念 『いのちに寄り添い 心をつなぐ』

《 第13期経営指針発表会を終えて 》

令和5年4月25日、丸亀のマルタスの会場をお借りして当法人の「第13期経営指針発表会及び第13期通常総会」を開催しました。多数の来賓の方や正会員の方などにお越し頂き、盛大に執り行うことができました。また、日頃から当法人にご支援ご協力して下さっている皆様方にもこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。いつもありがとうございます。

今年度より法人に本部を設置しました。施設利用者とスタッフに役に立ち喜ばれる仕事を全力で進めていくことを目的とし、働きやすい職場を目指して改善改革を行っていきます。また、法人の行動指針には、スタッフ同士の思いやりが大事であるという話し合いを重ねて『仲間への感謝の気持ちを忘れず、細かな「ありがとう」という言葉を口にする』を新たに加えました。

昨年度までの4事業所もそれぞれに新たな目標をかがけました。皆様の前で発表するスタッフをみて、とても頼もしく思えました。会に参加して下さった皆様からは「これからも当法人と一緒に官民で力を合わせて頑張っていきたい。」というありがたい言葉や、「それぞれ色々な事をしているみたいだったが、それが今日はじめて全部の繋がりが分かりました。」とお聞きし、発信する事の大切さを私たちも学ばせてもらいました。この発表会での発表を終えて、力を合わせて実行をしていこうと新たに強い覚悟を持つことができました。

それぞれの取り組みが一つとなり当法人の経営理念「いのちに寄り添い 心をつなぐ」の実現に向けて、スタッフ一丸となって一步一步少しずつ前進して参りたいと思いますので、今年度もご指導のご鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。



NPO法人 丸亀街づくり研究所 理事長 合木 啓雄

《 本部スタート 》

昨年度から設置した総務部を本部に名称を変え、本部として本格的に4月から始動いたしました。

財務基盤の強化や支出管理を行い、また人事面では全体の関係性や働きやすい環境等の話を聞いていきます。包括的相談支援では、家庭での困りごとや悩みの相談ができない場合のケースなど誰かと繋がれる支援を行っていきます。

スタートしたばかりで、あれやこれやと地に足がついていない状態ではありますが役割分担できるといいな…と感じております。

NPO法人 丸亀街づくり研究所 本部 人事 塚原 育美



《 当法人へのご協力とご支援いつもありがとうございます 》

第13期通常総会においてはNPO法人を支える正会員の方々にも参加して頂きました。
ご興味、ご関心のある方は是非とも正会員への入会よろしくお願ひします。
また、ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

【正会員】年会費 10,000円

【賛助会員】個人：一口 3,000円 団体：一口 20,000円

《 振り込み先 》 ゆうちょ銀行 口座番号 01660-9-68870

《 加入者名 》 特定非営利活動法人 丸亀街づくり研究所



《 寄付して下さった方々 》

○ ご寄付（順不同）

辻野結子様 佐藤真理子様 菊池菜々様

子育てネットくすくす様 オアシス丸亀様

高松市社会福祉協議会様 角野仁彦様 那須由美子様

丸亀市社会福祉協議会様 圓通寺様 奥村登紀子様

直木洋子様 香川県社会福祉協議会様 一億商店様

マックスバリュ西日本株式会社様 池田奈央様

たかまつ子ども食堂等ネットワーク様 JA 香川様

リトルマーメイド様 シードラゴン様 中島健三様



ありがとうございます



《 まちらぼ基金を使わせていただきました（順不同） 》

令和5年1月9日（月）成人の日に法人で小さい成人式を行いました。ナチュレとおひさま荘2名の参加で山の北八幡宮さんにお参りし、赤飯や鯛の姿焼きなど、ごちそうに囲まれ祝いました。



おみくじ



お祝い膳



篠原記念財団様より助成金の給付を頂きました。

令和5年1月にクーラー2台、事務所とダイニングに設置しました。冬の寒さや、夏の暑さが解消され、子どもたちが快適に過ごしています。春夏秋冬、すべての季節に大活躍になりそうです。本当にありがとうございました！

通信第36号 令和5年6月1日発行

発行者 NPO 法人 丸亀街づくり研究所

〒763-0082 香川県丸亀市土器町東8丁目463番地1

TEL:0877-85-3323 E-mail:ohisama@atbb.ne.jp

HP





若者独立塾 丸亀おひさま荘通信

《 「 いきます 」 と 「 いらっしやい 」 》

4月に入りおひさま荘では新たに2名の仲間を迎え3名の入所者でスタートしました。

高校に入学して部活動を始めたA君、最初は緊張していましたが学校や生活にも慣れてきました。毎朝のお弁当を自分で作り、帰宅後は洗濯を自分でするなど頑張っています。Bさんは入所してからバイト探しを始め採用になり、貯金する！と目標をたてました。忙しくても元気で笑顔を忘れない頑張り屋さんです。引き続き入所しているCさんは運転免許取得と卒業の目標に向かって自分のペースで一步一步進んでいます。スタッフと一緒に小さい子のお世話をしてくれる優しいお姉さんです。

入所している子ども達は毎日、学校やバイトに出かけていきます。あたりまえの事ですが「いらっしやい、気をつけてね。」「おかえり、お疲れさま。」の声かけを私はとても大切にしています。子ども達が外に出て頑張る力を充電できる場所であり人でありたいと思っています。



先日、美味しそうなパンの寄付を頂きました。その方は、お孫さんのお誕生日ごとにおひさま荘に焼き立てパンを届けてくださいます。その気持ちが「とても温かく、優しい笑顔が素敵だなぁ。」といつもほっこりした気持ちになります。子どもたちは大喜びで美味しく頂きました。皆様の暖かいご支援をいつもありがとうございます。

若者独立塾 丸亀おひさま荘 主任補佐 加地三千代

《 みんなで 》

コロナ禍も終息が見えてきたある日「そろそろみんなで出かけれるの?」という子どもの声があり、3年ぶりの外出計画を子どもの意見を出し合って決めました。今回はまんのう公園へお花見に行きました。その日は、天候に恵まれ絶好のお花見日和でした。春の陽気に包まれながら、思いっきり遊具で遊んだり、公園内をのんびり散策したり、桜を見ながら自分で選んだお弁当を食べたりしました。円になってみんなで食べるお弁当は格別な味がしました。どの子ども残さず完食していました。また、帰りの車の中でスヤスヤと眠る子どもたちの寝顔は満足した顔をしており、なんだか嬉しかったです。大人と一緒に大きな声で笑ったり、大人にわがまを言ったり、子どもたちで考えて行動したりする経験をドンドンさせてあげたいと思います。



早速「次はどこ行く?」と子どもたちからの催促がありました。これから子どもたちの声を聞きながら一緒に計画を練っていきたいと思います。

若者独立塾 丸亀おひさま荘 生活支援員 谷口智美

若者独立塾 丸亀おひさま荘

〒763-0082 香川県丸亀市土器町東8丁目463番地1

TEL:0877-85-3323 FAX:0877-43-6929

E-mail:ohisama@atbb.ne.jp



自立援助ホーム

nature 通信

《 nature の春 》



この春、2名の子が nature を巣立って行きました。彼らが nature で過ごした期間は約3年。この3年には色々な出来事がありました。世界的にはコロナが大流行し、制限の多い生活を送ることとなりました。その中で元気に巣立って行ってくれたことは嬉しい限りです。3年間の彼らへの支援は「これで良かったのだろうか?」と日々悩む事が多かったように思います。

巣立って行った彼らへ…「一杯悩み苦悩する事は多いと思うけど、前を向いて歩こう! 私たちは、君の応援団だよ!」

そして…1名が nature にやってきました。はにかんだ笑顔の可愛い彼女です。高校を卒業し働き先も決まって、やって来た彼女は夜遅くまで働いています。「大丈夫?」と聞けば、「大丈夫。」と答える彼女。日々頑張っている彼女を見ていて頭が下がる思いです。しかし、またそこが心配でもあります。今後、彼女が自立していくうえで、「私たちはどう支援していく事が出来るのか」考える日々が始まりました。「彼女と共に…」を心掛けて、彼女を支援していければと思っています。



自立援助ホーム nature 主任 大馬 明代

《 応援のバトンを託されて 》

nature を開設してから、いろいろな子ども達と出会いました。子ども達はたくさんの思い出と共に社会へ巣立っていきました。仕事を見つけて一人で生活している子ども、SOSを出しながらも一人暮らして頑張っている子ども、或いは別の福祉サービスや社会サービスをうけながら自分の居場所を見つけた子ども。子どもの生活の形は様々ですが、nature に来るまで、その時その時関わってくれた方が応援しながらバトンを渡して来てくれたなあと実感しています。我々は、これからも受けとったバトンを、次の走者に渡せるようにしっかり握りしめ、応援していきたいと思っています。



自立援助ホーム nature 生活支援員 野口 孝子

《 新社会人になって 》



私は高校を卒業し、今年度から新社会人になりました。仕事は面白い先輩とも出会い、楽しく充実しています。

生活面は慣れないこともあり、最初は寂しさを感じていましたが、一人暮らしを目指して今がんばっています。



自立援助ホーム nature 新社会人 A

自立援助ホーム nature (なちゅれ)

〒763-0082 香川県丸亀市土器町東7丁目208番地101号室

TEL:0877-85-3375 FAX:0877-85-3376

E-mail:nature@atbb.ne.jp



アフターケア事業所

わっかっか通信

《 新年度を迎えて 》

4月を迎えて新しい年度となりました。わっかっかもこの春から新しくわっかっか登録者が増えて、以前よりにぎやかになりました。新しく大学生になる若者、新社会人になる若者、新しく環境を変える若者、新しい命を授かる若者等…。環境によって顔つきも変化をし、たくましさや柔らかさを感じる事が多くあります。

先日、「仕事が充実し、楽しくてたまらない」と報告をするために来所をした若者もいます。そんな逞しく成長した顔を見て思わず、「一年前は、仕事をしていなくて、これからどうしようかなと2人で悩んでいた頃が懐かしいわ。」と笑いながら2人で話しました。

これからの季節は、若者がまぶしく感じる季節となります。彼らの力強い「生きる力」を感じながら、また、その若者の力を引き出せるように、温かく根気強く今後も支援をしていきたいです。今の時間を力いっぱい生きる若者たちのパワーをもらって、私も成長できるように頑張っていこうと思います。

4月のわっかふえ
さぬき空港公園に
おでかけしたよ(^^)



アフターケア事業所 わっかっか
就労相談支援担当職員
大内 実千代



《 新メンバー紹介 》

4月から「わっかっか」の開放日にいます 織野 順子 と申します。

仕事の帰りに寄ってくれる若者の皆さんと、おしゃべりしたり話を聞いたり、時間があれば簡単な料理を作って一緒に食べたりしています。

「私の目にはあなたは高価で尊い。」という聖句があります。過去・現在・未来と時間は、永遠につながっています。自分を大切に、また、仲間とのつながりを大切にしていくことで、どんな試練も乗り越えられないものはないだと信じます。

しんどいとき、苦しいときに、ちょっと顔を出して、仲間と話をして元気をもらい「新しい自分」で、生きていけるような場所になればと思っています。



Aちゃん作

アフターケア事業所 わっかっか 居場所スタッフ 織野 順子

アフターケア事業所 わっかっか たかまつ・まるがめ
〒760-0063 香川県高松市多賀町2丁目11-13 2階
TEL:087-802-6681 FAX:087-802-6682
E-mail:wakkakka2017@air.ocn.ne.jp



アドボカシー事業所

ここまい通信

《 アドボケイト登録の流れ 》

「子どもアドボカシー」って？

子どもの意見や主体性を尊重し、子どもの声を届け、子どもの意見表明権を保障すること。また、それを専門的に実践する人のことを「アドボケイト」と呼びます。

今年度は、この講座を受けて下さった8名のアドボケイトと一時保護所や児童養護施設に活動しております。

それぞれの地域のアドボケイトがその地域の子どもたちを支えていく為に、アドボケイトと一緒にしていきませんか。

基礎講座



実践講座



ここまい登録面談

情報はコチラから☆



子どもアドボカシー学会

全国子どもアドボカシー
協議会



ここまい facebook

《 アドボケイトコラム① 》

こんにちは。「チームここまい」メンバーのアドボケイトの福田です。私は、昨年11月から月に1回「独立アドボケイト」として、児童養護施設へ訪問しています。

さて、「ここまいのキャラクターをご存じですか？」マイクの形をした可愛いあの子です。「なぜ、マイク??」と思われる方もいるかもしれません。それは、アドボケイトがよく「子どもの声を大きくするマイクのような存在だ」と言われるからです。私もこの例えを聞いて、子どもアドボカシーやアドボケイトの役割がよく理解できました。

マイクは話す人の声を拾い大きくして、伝えたい人に届ける道具です。あくまで話す人が主体であり、スイッチを入れて声を出さなければ、マイクが勝手に話すことはありません。

アドボケイトも同様に、子どもの声を大きくして届ける役割です。でも、そのスイッチを入れるのは子ども自身です。私は、独立アドボケイトの活動中で、「子どもがまず自分でスイッチを入れてみようと思えるように、そして子どもの声をありのまま届けることを大切にしたい。」と考えています。同時に、もう一つ大切にしたいと思うことは、「継続することです。子どもが私を信頼して話してみようかな、と思えるまでには時間がかかると思います。話したい、聞いてほしいと思ったそのときに、そこにいることができるよう、細くとも長くこの活動を続けていきたい。」と思っています。

活動はまだ始まったばかり。子どもの声を聴くというのは本当に難しく、訪問時の対応もあれで良かったのかと悩むこともあります。が、「チームここまい」のみんながいるのでとても心強いです。これからも意見交換をしたり、フォローしあったりしながら、独立アドボケイトとして活動していきたいと思っています。

アドボカシー事業所 ここまい アドボケイト 福田裕美

アドボカシー事業所 ここまい

〒760-006 香川県高松市多賀町2丁目11-13 2階

TEL:087-802-5727 FAX:087-802-6682

E-mail:cocomai2022@atbb.ne.jp